長井市公共複合施設整備市民検討委員会
議事録

令和4年8月1日

長井市公共複合施設整備市民検討委員会 出席者名簿

■委 員

No	氏 名	所 属 等	出 欠
1	加藤 俊昭	長井市社会教育委員会 委員長	出
2	長沼真知子	長井市振興審議会 委員	出
3	横山 敬生	長井中央商店街振興会 会長	出
4	倉持 宏幸	長井市立図書館 館長	出
5	竹田 啓	長井小学校 校長	出
6	平 みわ	長井市図書館協議会 委員長	出
7	大津 君彦	市子ども育成会連絡協議会 副会長	出
8	大峽登詩子	おひさま保育園 園長	出
9	鈴木 良昭	白山こども園 園長	出
10	鈴木 英明	本町大通り商店街振興組合 理事長	欠
11	村田 佳子	総合学習指導塾七色学舎	欠
12	高世美恵子	株式会社高世工務所	欠
13	平 奈緒	公募委員	出
14	渡邊 洋男	公募委員	出

(順不同、敬称略)

■事務局

1	齋藤 環樹	副市長
2	竹田 利弘	政策推進監
3	青木 邦博	技監
4	新野 弘明	総務参事(兼)地域づくり推進課長
5	小林 克人	建設参事(兼)建設課長
6	鈴木 幸浩	子育て推進課長
7	吉川 幸代	地域づくり推進課 補佐
8	鈴木 千佳	子育て推進課 補佐
9	鈴木 満成	建設課 公共施設整備室長
10	高石 学	建設課 公共施設整備室係長
11	佐々木 優	建設課 主任
12	遠藤 智恵	建設課 主任

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 副市長あいさつ

お忙しいところご出席いただき感謝。2月に開催した第4回の検討委員会に引き続きご出席いただき感謝。また、新たに令和6年3月末までの任期にて委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。

公共複合施設整備工事は雪解け時期から本格的に開始し、おおむね予定どおりに進捗しているところである。

2月に開催した前回の検討委員会では、施設の愛称についてご協議いただいた。既に市の広報紙や新聞報道等でご存じかと思うが、本日の協議の際に愛称の決定についてご報告させていただきます。予定である。

本日は、事業の進捗状況、今後のスケジュール等について説明させていただき、閉会后には工事現場の見学を予定しているため、最後までよろしく願います。

4. 委員長、副委員長選出

委員会設置規程第5条第2項の規定により選出。委員長を加藤俊昭委員、副委員長を横山敬生委員、長沼真知子委員にお引き受けいただく。

■加藤委員長あいさつ

前回の本委員会から約6か月、皆さんも気になさって前を通るたびに眺めている状況であると思う。市民の方にお聞きしても、「建物が思ったより大きいね」という話を承る機会が多い。今まで審議してきたその通りの建物が、今現在粛々と建設されている。これだけのボリュームのある建物を今後運営していかなければならないということになる。運営に際して、できる限り市民の方々からご協力を賜りながら進めていかなければならない。それには建物のハードはもちろんだが、ソフト面でもより良い運営をしていただかなければならない。我々は委員のお力を借りて、方向性を「ぜひこういった形で」というように行政にあげていかなければならないという役割であると思っている。これから二年間の任期の間、みなさんのお力添えを賜りながらスムーズに運営へと移行できるようにしていきたい。来年の今頃は、いつから使うことができるかという時期になってくる。この一年間は非常に重要な任を担うということになる。どうか最後までご協力の程よろしく願い申し上げます。

昨今、みなさんご存じの通り、山形市にコパルという施設ができた。ぜひ、機会があれば見学してきていただくと良いと思う。どういう形でハードをつくってどのように運営していくかということは長井市とは当然違う形になると思うが、ここを利用する方々の利用者受けを想像すると、共通するところも結構あるのではないかと思う。みなさんにも色々な情報を収集していただき、反映できるような状況になると良いと思う。より前向きなご意見を賜ることができるような会を運営させていただきたい。最後までご協力をお願いする。

5. 協議

協議に入る前に、建物全体と外構のイメージにつながるよう屋上から建築工事現場全体を俯瞰した。

(1) 施設愛称募集結果について（報告）

資料1、資料1-1の内容について事務局から説明し、質疑応答をおこなった。

委員：愛称に込められた想いは、どちらかというと遊戯場に偏っているイメージが強い。「くるんと」の「と」は図書館の「と」という解釈もできると考えている。愛称に込められた想いを何らかの形で掲示する予定か？

事務局：何度でも遊びに、学びに来ることができる場所になってほしいなど、愛称に込められた想いについてはどちらかに偏っているということはないと認識している。愛称に込められた想いについては何かしらの方法で表示できると思うので、デジタルサイネージの活用も含めて検討していく。

委員：その場合は図書館についても触れてまとめ、情報発信してほしい。

委員：前回ロゴマークについての話もあったと思うが、その件はどうなったか？

事務局：ロゴマークを決めて施設に反映する計画であり、現在市と業者で案を作成し、お示しする方向で検討中である。

(2) 整備事業の進捗状況について

資料2について事務局から説明し、質疑応答をおこなった。

委員：学習室の椅子について、イメージ図で見ると長時間利用には不向きのように思える。この椅子等は確定済みのものなのか？今後検討の余地があるのか？

事務局：イメージ図に載っているものはあくまでも仮のものである。椅子等は備品となり、最後の方に調達となる。より適したものを設定できるように今後検討していく。

委員：10ページの学習室兼視聴覚室についてだが、学習室は平常時に学生が使うことが多いと聞いている。視聴覚室ということは、図書館の中に視聴覚の何かがあり、それを借りてそこで観るということか？その場合、視聴覚のものを観る人と学習する人が同じ空間の中にいるという認識で正しいか？

事務局：通常時、予約が入っていない時はフリーで学習室として利用していただき、視聴覚室としての利用の場合は部屋を占有して使っていただくことになるため、利用申請をしていただき、予約をして視聴覚教材等を上映していただくという想定をしている。同じ空間で学習する方と視聴覚利用の方が一緒に利用するという事はない。

スクリーンは北側の壁面に設置予定。視聴覚利用はそんなに頻繁にはないという

想定である。視聴覚利用としての予約が入っている場合は、カウンター席など図書館の他のスペースで学習していただくことになる。

委員：多目的室も申請をして借りるという利用方法か？

事務局：その通り。

委員：8ページについて、入口すぐ左側のスペースに郷土資料展示コーナーを配置するという想定であったと記憶しているが、イメージ図では普通の書架コーナーのように描かれている。これについてはどうなっているのか？

事務局：イメージ図に反映されていなくて申し訳ない。イメージ図で左の柱の陰にかくれてしまっていて見にくいですが、エントランスホールに面したガラス面のところがもともと低めの書棚だった。現在はその場所を3～4段ほどの展示棚にし、郷土資料などを展示できるようにしようということで設計を変更している。図書館の中からはもちろん、エントランス側からもガラス越しに郷土資料が見えるようにと計画している。現在のイメージ図では全部書棚になっており、テーブルや椅子が配置されているが、最終的にはイメージ図にも反映されて変わってくる予定である。

(3) 整備事業のスケジュールについて

資料3の内容について事務局から説明し、質疑応答をおこなった。

委員：開館時間は何時から何時までか？

事務局：正式には9月議会での議決をもって決定となるが、図書館部分については午前10時から午後7時までを基本の開館時間とし、土曜日と祝日前の日曜日は午後8時まで開館時間を延ばすことを予定している。屋内遊戯施設については、平日・土日祝日問わず午前10時から午後6時までの開館時間を予定している。休館日については、毎月第2・第4火曜日と1月1日、図書館はそれに加えて特別整理日ということで2月頃に1週間ほど休館する日がある。

委員：長井小学校旧第一校舎の運営を見ていると、夜9時30分まで開館しているのだが、最近仕事終わりに利用する大人の方が増えてきている。パソコンをもってきてフリースペースで仕事をなさっている方もいる。図書館については、賑わいをうむということが大切。30代、40代といった図書館から足が遠のいている年代の方からすると午後7時までという開館時間は早いのかなという個人的な印象がある。

事務局：貴重なご意見に感謝する。開館時間については、利用状況を見ながら運営していきたいと考えているが、条例上はこの時間の予定である。もう一点、第一校舎との差別化も必要になってくる。同じことをやっていたらどうなるかということも考えながら施設を運営していきたいと考えている。ご理解のほどよろしく願いたい。

委員：指定管理者の指定について、これは市議会で選定するのか？せっかく検討委員会があるので、どちらに指定管理をお願いするかということについて委員会の意見もぜひ反映していただきたいと考えるがどうか？

事務局：あくまでも市議会は、選定した後にそれを議決するという役割を担う機関であり、指定管理者の選定と市議会の議決は別ものである。9月議会で、指定管理者の選定をおこなってよいという議決をいただいた上で、指定管理候補者の選定をおこない、その結果を12月議会で報告し、議決をいただいて指定管理者が決まるという流れになる。

事務局：指定管理者の相手方の選定については、この施設に限らず、長井市もそうであるが、どこの市町村でも指定管理の選定委員会というものを設置しており、そこで評価し、合格点をもらったものを候補者として選定する。その選定の後に、相手方を指定管理者として良いかということをも市議会で議決いただかないと決定が有効にならないため、そのような流れになる。指定管理の審査委員会の委員については、市の職員の他に税理士等を含んでおり、審査については公表し、公開のところで審査をするということになっている。

委員：市だけで決めるのではなく、市民からも意見を汲み取ってもらえるような形で委員会は設置されるのか？

事務局：審査委員会の委員には知識経験者等も含んでいる。プロポーザルをおこない、選定評価の基準を決めて選定をしている。個別に複合施設のための審査会を設置するというということではなく、構成員が決まっている。複合施設のところでいうと、評価の基準のところでもし委員会の皆さんからご要望等あれば、そういったものも反映できるのかなといったところである。

(4) その他

倉持委員より10月18日(火)長井市民文化会館にて山形県図書館研究大会がおこなわれる旨のお知らせがあった。今の図書館とこれからの図書館について知っていただく非常に良い機会であるので、ぜひご参加いただきたいとのこと。

委員：建物がとても大きく見える。上から見た時に意外と駐車場が狭いなといった印象を受けた。イベント等をする時に手狭になるのではないかと感じたが、囲いが取れると少し広く見えるのかもしれないが図面で見ているのと少し印象が違ったなというのが正直な感想。山形市の施設のまわりを見たところ、少し採光が悪いような印象。電灯をつけていけば問題ないのだろうが、長井の施設はそうにならないければ良いと思っている。山形市の施設よりも建物の高さが高いと感じ、長井の建物の方が立派に見える。

委員：感想としては思っていた通り大きいなといった印象。山形の施設は、車椅子で乗れるブランコ等、外の遊具がとても良い。せっかくこのように立派な建物が長井にもできるので、建物の外観だけでなく、飽きがこない中の運営ができればいいと期待している。

委員：今日初めて屋上から見て、天井面積がもったいないと感じた。強度の問題があるのかもしれないが、あまりにも広大で緑化などできたら良いのにと考えた。しかし、山形よりは絶対に良いと思う。

委員：数年前に長井市民文化会館であった尾木先生の講演会で、福井の駅前には健康の施設と子育ての施設が融合されたビルがたっており、福井の代表的な建物になっているという話をされていたことが印象に残っている。今建設中の長井市の施設は子育て施設と図書館の複合施設ということで、山形県で一番の施設になってほしいと願っている。

委員：いかに先取りをするかが大切になってくると思う。色々な図書館を見ると、ラウンジ型の席の配置というのがなくなっている。ほとんどが外側に向けて一列に並んでいる。まだ要望等が通る余地があるのであれば、先のことも考えてそのような配置が良いのではないかとと思う。

委員：加藤委員長が折に触れておっしゃっている「市民と協力した複合施設にしていかなければならない」という意見に大賛成。市民とつくる複合施設でなければ賑わいはうまれないと思っている。図書館に限って言えば、新しい図書館にまずは興味を持っていただいて、図書館を利用する人が増えなければならない。今現在、市民の図書館利用は約3割。市民の7割は図書館を使っていないという状況。これは全国だいたい同じくらいの割合である。7割の方に図書館を使っただくにはどうしたら良いか。キーワードは多機能型図書館である。多機能型というのは利用者からすれば、多用途に多目的に利用できるということ。どのような点で多機能型になるのか、どんな風に多目的に利用できるのかを多世代に強くアピールしていただきたい。そうすることで、まずは新しい図書館に行ってみたいと思ってもらうことができる。それが市民とつくる図書館の第一歩となるのではないかとと思う。

委員：建築のパース図面を見て、新しくて良いなと思い、わくわくドキドキしている。指定管理ということだが、担当課はどこになるのか？その点は運営の面からとても重要だと思うので、可能であれば教えていただきたい。

事務局：工事については建設課が担当しているが、完成して管理となった時は、図書館については地域づくり推進課、遊戯場については子育て推進課が担当となる予定。予算については一つの課にまとめることになるかと思うが、そういった点も含めて9月議

会に上程していくという段取りである。

委員：市報、あやめレポ、タウンミーティング等で触れる機会が多く、市民の方も期待をもってオープンを心待ちにしていると思う。建設の部分に関しては専門知識を有する方にお任せするほかない部分も大きいわけだが、実際に出来上がってからの運用の面で、少しでも多世代の方が交流できる、行き来できる、ただ自分の時間を費やすためだけに通うのではなく、色々な人と関わるために通えるような、交流を持てるような場であってほしいと思う。運営する当事者だけではなく、色々な方が関わるができるきっかけを生み出す場になるようにしてほしい。駅前商店街としても、少子化・人口減少等でまちの規模が非常に小さくなってきていると感じている中で、少しでもお役に立てることがあればと思っているので、オープンセレモニーや、その後のイベント等活動であっても機会があれば積極的に関わっていききたい。

委員：屋上から見学して、とうとうできてしまうのだなという感想。施設ができることを皆望んでいるし、現状で今すぐにも子どもを遊ばせたいくらい夏休みの家の大変さがある。外で遊ばせたいけれど、暑すぎて外で遊ばせることができない。だからといって家の中で遊ばせようとするとか何かを壊してしまうので、仕事をしながら子どもを見るのは大変。今現時点でできていたら、下の子は遊戯施設で遊ばせて、上の子には「図書館で自由研究の本を探してきなさい」と言えたのになというイメージが湧いており、それが早くできてほしいなという想いがある。皆さんにもそのように図書館と遊戯施設を兄弟で使うことが出来たら最高だろうと思う。施設のパス図を見せていただき、パーツパーツができあがるイメージはこの図でわかるのだが、やはり最後はそれを動かす人が一番大切であると思うと同時に、そこが一番心配である。機械的に動く人では絶対にだめであると思うので、運営する方々の教育もしっかりしていただきたいと切に願う。

委員長：これからできあがり益々楽しみ。今後もこういった機会をつくっていただき、進捗状況等を含めてご報告願う。お気づきの点があれば、すぐにでも事務局にあげていただき、一緒になってつくっていききたいと思うのでよろしく。私はゲートがとても重要になってくると考えている。ハードもそうだが、ソフトもしかけられるようなゲートであってほしい。色の話もでたが、ゲートの色合いによってがらりと変わってくるはずである。アクセスの方法であるとか印象が変わってくるととても重要なものである。明日にかけるゲートのような状況を長井市の提案として出していただけたら嬉しいと思う。繋ぎ込みをする部分、ハードとハード、例えば市役所とこの複合施設を結ぶような道路のつなぎ部分を常に忘れず、ここを上手に演出できれば、お互いがより良い関係を持ち得ることにもつながっていく。これはここだけのことではない話である。こんなことができるのではないかという話があれば、これからでも遅くないと思うので、ぜひご協力を賜りたい。

6. その他

委員長：これから2年の任期ということで、今後の会議の予定について、いつ頃になるのかわかる範囲で構わないので教えてほしい。

事務局：次回の会議については、1月から2月にかけて開催させていただきたいと考えている。近くなりましたら早めにご案内させていただくのでよろしくをお願いします。

7. 閉会

※閉会后、建築工事現場にて工事担当者の説明のもと、現場見学をおこなった。